

兵庫県空手道糸東会選手権大会 競技規定

☆形競技

・すべて赤青選手同時に演武し、赤青フラッグ方式とする。

ベスト16まで (ベスト16を含む)		準々決勝 (ベスト8)	準決勝 (ベスト4)	決勝 (優勝者決定戦)
-----------------------	--	----------------	---------------	----------------

・幼児、小学1、2年生 『最低1つ』の形でよい

平安初段～五段		平安初段～五段	平安初段～五段または指定形	平安初段～五段または指定形
同じ形を使用可		ベスト16までに演武した形も使用可	準々決勝までに演武した形も使用可	準決勝までに演武した形も使用可

・小学3、4、5、6年生 『最低2つ』の形でよい

平安初～五段		指定形または得意形	指定形または得意形	指定形または得意形
同じ形を使用可		一度演武した形は使用できない	ベスト16までに演武した形は使用できないが、準々決勝で演武した形は使用可	ベスト16までに演武した形は使用できないが、準々決勝から演武した形は使用可

・中学生 『最低2つ』の形でよい

平安初～五段		指定形	指定形または得意形	指定形または得意形
同じ形を使用可		第一指定形 第二指定形	ベスト16までに演武した形は使用できないが、準々決勝で演武した形は使用可	ベスト16までに演武した形は使用できないが、準々決勝から演武した形は使用可

・少年、一般 『最低4つ』の形が必要

指定形		指定形または得意形	指定形または得意形	指定形または得意形
同じ形を使用可		一度演武した形は使用できない	一度演武した形は使用できない	一度演武した形は使用できない

・一般段外、壮年一部二部 『最低2つ』の形でよい

平安および指定形		指定形または得意形	指定形または得意形	指定形または得意形
同じ形を使用可		一度演武した形は使用できない	ベスト16までに演武した形は使用できないが、準々決勝で演武した形は使用可	ベスト16までに演武した形は使用できないが、準々決勝から演武した形は使用可

・小学生団体 『最低1つ』の形でよい

平安初段～五段		指定形または得意形	指定形または得意形	指定形または得意形
同じ形を使用可		ベスト16までに演武した形も使用可	準々決勝までに演武した形も使用可	準決勝までに演武した形も使用可

※ ベスト16は、出場人数が9名以上の場合に該当する。出場人数が8～5名の場合は準々決勝に示された内容の形から開始され、4～3名の場合は準決勝に示した内容から、2名の場合は決勝に示した内容で競技を行う。

※北谷屋良公相君・八歩連は糸東会認定のみ演武できる。

☆組手競技

- 1 競技時間 個人戦は、年齢関係なく、1分30秒フルタイムとする。団体戦は1分のフルタイムとする。
- 2 勝敗 6ポイント差が生じた場合、または時間終了時に得点の多い競技者、または判定により、または反則等が課せられ勝者が決められる。ただし、団体戦は6ポイント先取とする。
- 3 団体戦 一般 1チーム3名（メンバーは高校生以上、勝敗が決した時点で終了〔小学生も〕）
小学生 1チーム3名（先鋒1・2年から1名、中堅3・4年から1名、大将5・6年から1名、男女混合でも可）
- 4 安全具 女子（幼児を除く） メンホー、ボディープロテクター、拳サポーター
男/女児（幼児） ヘッドギア、ボディープロテクター、拳サポーター、（男児のセフティーカップは任意）
（ヘッドギアは大会本部で準備する）
男子（小・中・少年） メンホー、ボディープロテクター、セフティーカップ、拳サポーター
（小学低学年のセフティーカップは任意）
男/女子（一般・壮年） メンホー、ボディープロテクター（WKF推奨）、セフティーカップ（男子のみ）、拳サポーター

※ 全カテゴリー、上記以外に出来る限り、マウスピース、ならびにインステップガード・シンガード（一般のみWKFでもよい）を着装すること。

※ 全カテゴリー、メンバーにはマウスシールドを着装すること（個人で準備）。拳サポーターは赤青のグローブタイプ。ただし小学生以下はリバーシブルでもよい。

☆共通

- ・競技参加選手は、各所属（道場・学校）の胸マーク及び名前ゼッケンを必ずつけること。
- ・個人所有の赤青帯を着用してもよい。（なくても大会本部で準備をしている）
- ・壮年とは、35歳以上のことで、一部が35歳から45歳まで、二部が46歳以上。（基準日は大会日）
- ・今大会全種目、ベスト8入賞者に全国大会の出場権を与える。（8人以下の種目は希望者）
- ・前年度の全国大会で第三位以内の入賞者、およびシニア・ジュニア強化選手は、全国大会の出場権がある。（申込みは必要）
- ・競技中の負傷等の応急処置は主催者側（大会ドクター）で行いますが、その後の責任は一切負いません。
- ・出場者は、各自あるいは道場で、必ずスポーツ傷害保険に加入しておいてください。